

技能章課目一覧表(2017/9/1以降 新進歩課程適用者)

N 01. 野営章 (2017/9/1 内容変更)	
N 02. 野営管理章 (2017/9/1 内容変更)	
N 03. 救急章 (2017/9/1 内容変更)	
N 04. 野外炊事章(2017/9/1 名称内容変更)	
N 05. 公民章 (2017/9/1 新規)	
N 06. パイオニアリング章 (2017/9/1 新規)	
N 07. リーダーシップ章 (2017/9/1 新規)	
N 08. ハイキング章 (2017/9/1 新規)	
N 09. サウトリング章 (2017/9/1 新規)	
N 10. 通信章 (2017/9/1 新規)	
N 11. 計測章 (2017/9/1 新規)	
N 12. 観測章 (2017/9/1 新規)	



NO1. 野 営 章

所属： _____ 第 _____ 団 _____ 隊 スカウト氏名： _____

	考 査 細 目	考査方法	合格年月日	認印
1	入団以来通算10泊以上のキャンプ（3泊以上のキャンプに2回参加したことを含むこと、また自分が計画した班キャンプを含むことができる）に参加していること。	報告書の提出		
2	キャンプ地を選ぶときの基本的な条件と自然環境を保護するための注意点を説明し、班キャンプにおけるサイト設計図を作成し、そのキャンプ地に合った班サイトを構築する。	口述または記述		
3	家型テントとドーム型テントを含む、代表的なテントを3種以上張り、特徴、用途を説明できること。	実演・口述		
4	フライ付き家型テントを正しく張り、昼と夜、晴天と雨天、強風時に応じた綱の張り方ならびに支柱、ソドクロス、換気窓、扉の扱い、乾燥作業ができること。また、ドーム型テントの強風時および雨天時の対策、乾燥作業ができる。	実演		
5	木、竹などの材料を用い、正しいロープ結びを用いてキャンプ生活に必要な用具や設備、立ちかまどを含む3種以上を製作すること	実演または報告書の提出		
6	キャンプの衛生について、次の各項にわけて説明ができること。 ① 湿気の防止と乾燥作業の必要性とその方法 ② 寝るテント内に食品を貯えることの有害な理由 ③ キャンプサイトにハエを発生させないための対策	口述または記述		
7	夜の野営地における正しい灯りのとり方を理解していること。又、ホワイトガソリン・灯油・ガス・乾電池を使用するキャンピング灯火を3種類以上使用した経験があり、取扱上の注意事項・特徴・手入れの方法が説明できること。炊事用コンロの正しい取扱いが説明できること。	実演・口述または記述		
8	2泊以上のキャンプに必要な個人携行品を身につけて点検を受けること。	実演または記述		

考査細目のすべてに合格したことを証明します。

年 月 日 隊長 _____ 印



NO2. 野 営 管 理 章

所属： _____ 第 _____ 団 _____ 隊 スカウト氏名： _____

	考 査 細 目	考査方法	合格年月日	認印
1	野営計画時において次の項目について点検し、点検報告書を作成する。 ① キャンプ地の選定（水質調査を含む） ② 食糧と燃料の貯蔵 ③ 便所とごみ捨ての衛生処理 ④ 班サイトの立地条件(炊事場・かまど配置条件を含む) ⑤ 現地における緊急対策	報告書の提出		
2	朝と夜の点検の重要性と心構えについて説明し、朝と夜の点検の各点検項目表を作成し、それを用いて実際のキャンプにおいて点検を行い、報告する。	口述または記述と報告書の提出		
3	キャンプ中に起きるかも知れぬ突発事故（例えば急病、火災、盗難、虫害、風水害など）がおきた場合の措置について説明できること。	口述または記述		
4	次のキャンプ用具の格納・保管にあたり、行うべき処置を知ること。 ① テント、フライシート ② グランドシート ③ ペグ ④ 工具 ⑤ 炊具 ⑥ ロープ類	口述または記述		
5	水辺または水泳プログラムを有するキャンプの安全管理につき、特に注意する点を説明できること。	実演		
6	キャンプにおいて朝礼、スカウトズOWN・サービス、キャンプファイアを計画、実施し、それぞれの意義について説明する。	実演・口述または記述		
7	隊、地区または県連盟など1個隊以上の規模で行われるキャンプ、または常設キャンプ場の管理に通算3昼夜以上奉仕した経験があり、その奉仕記録または報告書を提出すること。	記録または報告書の提出		

考査細目のすべてに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考査員 _____ 印



NO3. 救 急 章

所属： _____ 第 _____ 団 _____ 隊 スカウト氏名： _____

	考 査 細 目	考査方法	合格年月日	認印																																																																															
1	<p>ボーイスカウト救急法講習会もしくはそれに準じる講習会を修了する。</p> <p>ただし、次の講習の場合では、ボーイスカウト救急法講習会の一部細目を履修することができる。これらの講習会で履修できなかった細目については、別途考査を受け、合格すること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ボーイスカウト 救急法講習会細目</th> <th colspan="2">日本赤十字社</th> <th colspan="2">消防署</th> </tr> <tr> <th>救急法講習</th> <th>救急員養成講習</th> <th>普通救命講習</th> <th>上級救命講習</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 救急法の基本</td> <td>(2) (3)</td> <td>(2) (3)</td> <td>(2) (3)</td> <td>(2) (3)</td> </tr> <tr> <td>2 心肺蘇生法</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3 AED</td> <td>(1) (2)</td> <td>(1) (2)</td> <td>(1) (2)</td> <td>(1) (2)</td> </tr> <tr> <td>4 止血法</td> <td></td> <td>(1)</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>5 ショック</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 食中毒</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7 一酸化炭素中毒</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8 熱中症</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9 頭部外傷</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10 骨折、捻挫</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>11 きず等</td> <td></td> <td>(2) ア～オ</td> <td></td> <td>(2) ウ</td> </tr> <tr> <td>12 動・植物による被害</td> <td></td> <td>(2) (3) (5)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13 搬送法</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>14 救急要請</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ ○はボーイスカウト救急法講習会の細目のすべてを履修したものとし、数字で示すものはボーイスカウト救急法講習会の該当番号の細目のみを履修とみなす。</p>	ボーイスカウト 救急法講習会細目	日本赤十字社		消防署		救急法講習	救急員養成講習	普通救命講習	上級救命講習	1 救急法の基本	(2) (3)	(2) (3)	(2) (3)	(2) (3)	2 心肺蘇生法	○	○	○	○	3 AED	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	4 止血法		(1)		○	5 ショック		○			6 食中毒					7 一酸化炭素中毒		○			8 熱中症					9 頭部外傷		○			10 骨折、捻挫		○		○	11 きず等		(2) ア～オ		(2) ウ	12 動・植物による被害		(2) (3) (5)			13 搬送法		○		○	14 救急要請	○	○	○	○	修了証明の提示		
ボーイスカウト 救急法講習会細目	日本赤十字社		消防署																																																																																
	救急法講習	救急員養成講習	普通救命講習	上級救命講習																																																																															
1 救急法の基本	(2) (3)	(2) (3)	(2) (3)	(2) (3)																																																																															
2 心肺蘇生法	○	○	○	○																																																																															
3 AED	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)																																																																															
4 止血法		(1)		○																																																																															
5 ショック		○																																																																																	
6 食中毒																																																																																			
7 一酸化炭素中毒		○																																																																																	
8 熱中症																																																																																			
9 頭部外傷		○																																																																																	
10 骨折、捻挫		○		○																																																																															
11 きず等		(2) ア～オ		(2) ウ																																																																															
12 動・植物による被害		(2) (3) (5)																																																																																	
13 搬送法		○		○																																																																															
14 救急要請	○	○	○	○																																																																															
2	<p>隊の救急箱を整備し(未整備品、充足・不足物品のリストアップを含む)、そのチェックリストを提出する。</p>	報告書の提出																																																																																	
3	<p>県連盟、地区単位で設置される救護所の奉仕や隊活動、キャンプでの救護係を通算5日以上担当し、その報告書を提出する。</p>	報告書の提出																																																																																	

考査細目のすべてに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考査員 _____ 印



NO4. 野 外 炊 事 章

所属： _____ 第 _____ 団 _____ 隊 スカウト氏名： _____

	考 査 細 目	考査方法	合格年月日	認印
1	戸外で、あり合わせの材料を用いて、地面を掘らない方法で、3種以上のかまどを作ること。また、常設かまどの正しい利用方法と注意点を説明できること。	報告書の提出または実演・口述		
2	ホワイトガソリン、灯油、ガスを使用するキャンピングストーブ(コンロ)と自然保護の関係について理解していること。また、1機種以上のキャンピングストーブを使用して炊事をした経験があり、取扱上の注意事項・特徴・手入れの方法が説明できること。	実演・口述または記述		
3	マッチを防水加工し、携帯用の防水容器に入れて提出すること。	作品(防水マッチ)の提出		
4	班の炊事係として、次の野外料理を作ること。 ① 食用野草を含む野菜料理2種以上 ② 牛、豚、鶏などの肉料理2種以上 ③ 塩干魚および生魚の料理2種以上 ④ 小麦粉を用いたダンパー、またはツイスト	実演(一部)・報告書の提出		
5	川などの自然水を使用するときの簡易ろ過装置を図解し、作成する。また、ろ過後の水および生水の滅菌ができること。	実演または報告書(図解・実施記録)の提出		
6	非常食(簡易食品を含む)5種をあげ、その扱い方を知ること。	口述または記述		
7	炊事用具の正しい使用と管理ができ、次の項目が実演できること。 ①包丁を用いて、料理に応じた野菜の切り方、魚の3枚おろし。 ②使用した炊事用具で食中毒を引き起こさないための衛生管理方法。	実演または記述		

考査細目のすべてに合格したことを証明します。

年 月 日 隊長 _____ 印



NO5. 公民章

所属： _____ 第 _____ 団 _____ 隊 スカウト氏名： _____

	考査細目	考査方法	合格年月日	認印
1	次の3項目について説明する。 ①国民の権利、義務、責任 ②民主主義と基本的人権 ③日本国憲法の三大原則	口述・記述		
2	地球環境問題について1つ取り上げ、自分には何ができるか説明する。	口述・記述		
3	日本がどのような国際貢献をしてきたか、また今後求められる国際貢献について説明する。	口述・記述		
4	ボーイスカウト以外で地域に貢献する団体を調べる。	報告書		
5	国において市民権とはどういう意味か調べ、どうすればこの国において良き国民となれるか隊長と話し合う。	報告書・口述		
6	新聞等の報道の中から「平和」・「人権」に関する記事を1つ選び、概略をまとめる。	記述		
7	郷土の歴史、伝統行事、文化遺産について調べ、報告書を提出する。	報告書		
8	隊長の助言を得て、地域社会での指導的立場にある人を訪問し、仕事や任務について学び、集会で話す。	実演		

考査細目のすべてに合格したことを証明します。

年 月 日 隊長 _____ 印



NO6. パイオニアリング 章

所属： _____ 第 _____ 団 _____ 隊 スカウト氏名： _____

	考 査 細 目	考査方法	合格年月日	認印
1	8の字しばり（または三脚しばり）を用いて、丸太等で三脚を組み立てる。	実演		
2	角しばりと筋かいしばりを用いて、丸太材で台形橋脚（斜め材2本入）を組み立てる。	実演		
3	ロープを強く張るための結びを知り、2種以上の方法を実演する。できれば、滑車を使った場合の方法を知り実演する。	実演		
4	次のいずれか1種を選び、これを構築する。 ① 100kg 以上の荷や人を積めるいかだ ② 幅 30cm 以上、長さ 3m 以上でリュックを背にしたスカウト1人ずつが安全に通れる軽架橋 ③ 頂上にスカウト1人がのり、安全作業できる高さ4.5m 以上の信号やぐら	実演		
5	4で選んだ工作物の設計図を作成し、使用するロープ種類、使用するロープ結び等を説明し、資材リストを作成する。	口述・記述		
6	4で選んだ工作物の模型を作成し、作業計画書を作成し、作業手順が説明できる。	記述・口述		
7	4で選んだ工作物を構築する場合の作業安全計画書を作成し、作業にあたっての安全対策が説明できる。	記述・口述		

考査細目のすべてに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考査員 _____ 印



NO7. リーダーシップ 章

所属： _____ 第 _____ 団 _____ 隊 スカウト氏名： _____

	考 査 細 目	考査方法	合格年月日	認印
1	班長または次長（ベンチャースカウトの場合は議長またはチーフ）として、6か月以上、隊運営に携わる。	記録確認		
2	班の係（ベンチャースカウトの場合は隊または活動グループ）において、それぞれの役割について説明できる。	口述または記述		
3	他のスカウトの進級に向けて、スカウト技能を指導する。	実演・記録確認		
4	傾聴について知り、仲間の意見を理解する。	記述・実演		
5	コミュニケーションに関する書籍を読み、自分の意見を隊長と話し合う	記述・実演		

考査細目のすべてに合格したことを証明します。

年 月 日 隊長 _____ 印



NO8. ハイキング 章

所属： _____ 第 _____ 団 _____ 隊 スカウト氏名： _____

	考 査 細 目	考査方法	合格年月日	認印
1	パトローリングの正しい方法と、その意味を説明する。	口述または記述		
2	ハイキングの装備携行品一覧表を作成する。	記述		
3	ハイキングで観察物を3種類以上スケッチする。	記述		
4	地球にやさしい野外活動をするために、ハイキングで何ができるかを説明できる（アウトドアコード）。	口述または記述		
5	道に迷ったときの対処の方法を説明できる。	口述または記述		
6	ハイキングで野帳をつけ、またその野帳によって略地図を作る。	レポート		
7	ハイキングに適切な服装、雨具、靴について説明できる。	口述または記述		
8	自然環境を利用した天気の前測ができる。	口述または記述		

考査細目のすべてに合格したことを証明します。

年 月 日 隊長 _____ 印



NO9. スカウトソング 章

所属： _____ 第 _____ 団 _____ 隊 スカウト氏名： _____

	考 査 細 目	考査方法	合格年月日	認印
1	「君が代」と「連盟歌」を正しく歌える。	実演		
2	スカウト歌集から10曲以上、スカウトソングを歌える。	実演		
3	セレモニーで連盟歌の指揮を正しく行う。	実演		
4	5曲以上のスカウトソングを歌唱指導することができる。	実演		

考査細目のすべてに合格したことを証明します。

年 月 日 隊長 _____ 印



N10. 通 信 章

所属： _____ 第 _____ 団 _____ 隊 スカウト氏名： _____

	考 査 細 目	考査方法	合格年月日	認印
1	100m以上離れた 2点で手旗の送受信ができる。	実演		
2	号笛または旗を用いたモールス信号で 10文字程度の文章の送受信ができる。	実演		
3	追跡記号を10種以上覚える。	実演または記述		
4	300m以上の距離に追跡記号を設置し班員を誘導する。	実演		
5	救難信号の種類と使い方を説明する。	口述または記述		

考査細目のすべてに合格したことを証明します。

年 月 日 隊長 _____ 印



N 1 1 . 計 測 章

所属： _____ 第 _____ 団 _____ 隊 スカウト氏名： _____

	考 査 細 目	考査方法	合格年月日	認印
1	自分の身体や身近にあるものを用いて簡単な計測を行う。	実演		
2	ロープに1m刻みの目盛りを施し、計測に使える。	作品提出・実演		
3	100mの距離を誤差5%以内で歩測する。	実演		
4	スカウトペースで2kmを15分で移動する。	実演		
5	はかりや計量器を使わずに、1合の米、1Lの水を15%以内の誤差で測る。	実演		
6	自作の簡易測量器具を使い、樹木などの高さを誤差10%以内で測る。	実演		
7	簡易測量法を用い、到達できない2点間の距離（長さ、高さ）を誤差10%以内で測る。。	実演		
8	計測を取り入れた集会を計画、実施を行う。	実施計画・実演		

考査細目のすべてに合格したことを証明します。

年 月 日 隊長 _____ 印



N12. 観測章

所属： _____ 第 _____ 団 _____ 隊 スカウト氏名： _____

	考査細目	考査方法	合格年月日	認印
1	食用植物、有害植物をそれぞれ2種以上見分ける。	記述または実演		
2	24個の小さなものを1分間観察し、そのうちの16個以上を記憶によって覚える。	実演		
3	ハイキングで観察物を3種以上の方法（写真、スケッチ、拓本、採取など）で記録する。	記録の提出		
4	樹木5種類以上をスケッチまたは写真で記録し、特徴を述べる。	記録・口述or記述		
5	北極星の発見方法を知り、北極星を発見できる。また、5つの星座を発見できる。	実演		
6	身近にいる動物（ほ乳類・鳥類・魚類など）について観察し、報告する。	記述・報告書提出		

考査細目のすべてに合格したことを証明します。

年 月 日 隊長 _____ 印